

調布の宝 国分寺崖線

～ 若葉町2丁目若葉の森を守りたい ～

都市計画道路 3・4・10 号線をご存知ですか？ 若葉町 2 丁目から飛田給 2 丁目までの 7400m の都市計画道路です。品川通りと言われるこの道路は現在つつじヶ丘駅の南側までで、そこから東は住宅街への細い道となっています。この計画ができたのは昭和 37 年ですが、外郭環状線の計画区域に重なるため、長い間保留となっていました。それが外郭環状線の計画が具体的になったこととともない昨年暮れ現況測量の実施がなされました。



品川通りの突き当たりから実篤記念館方面へと向かう



若葉小北に残る崖線樹林を横切る



仙川に新しく出来た道路 3・4・17 と交差、ここから世田谷へ通じる



3・4・10 号線は入間川をまたぎ、国分寺崖線を斜めに横切り、仙川にできた新しい道のあたりから世田谷方面に続く路線計画となっています。

東京オリンピックの準備が始まった頃に計画された道路ですが、昨年末の測量から完成まで、10 年以上はかかるそうです。

調布の自然



編

セイタカアワダチソウ (キク科 アキノキリンソウ属)

すすきの穂が爽やかな秋風に揺れる頃、セイタカアワダチソウの黄色い花が目につくようになります。この花が帰化植物としてどこでも見られるようになったのは 40 年以上前ですが、新婚の頃、多摩川近くに転居してきてこの群落を見るようになったので、私にとって懐かしい花でもあります。当時はブタクサと呼ばれ(本当のブタクサは別種)「花粉症になる」と嫌われていましたが、実際は虫媒花なので、沢山の花粉が飛ぶことは無いそうです。もう一つこの花を有名にしているのは、アレロパシーという発芽抑制物質を出して、他の草の繁殖を抑えることです。この物質は自身の繁殖も抑制する結果になるらしく近年は以前ほどの大繁殖は見られません。その

ため近頃は花屋で「アキノキリンソウ」の名前で売っていることもあるようです。(アキノキリンソウ属ですがアキノキリンソウとは別の花。)

一度は嫌われ者だった花ですが、もう何年も前に十朱幸代さんがこの花をテーマに「…私にゃ沖縄遠すぎる♪」というすてきな歌を歌っていました。また「きれいよねえ」とうっとりする人も多くたくさん摘んで大きな花瓶にドッサリ生けるととてもすてきです。ただし花が咲いた後は綿のようになり、ちょっと厄介ですが…。(環境モニター Nao.K)



◆入間・樹林の会

6月、樹林地が市民に開放されたこともあり行き止まりになっているマテバシイ広場の周辺を整備しました。ヤブタバコヤブミョウガなどを刈り歩道との境界に丸太を並べ通路以外に立ち入れないようにしました。

7月になってようやくセミの鳴き声を樹林地でも聴くことができました。今年例年より鳴き始めが遅く、



ヤブミョウガの花

クロアゲハ・モンシロチョウなど蝶々が多く飛んでいました。方形枠調査後、NTT 社宅敷地内でみつかったニリンソウの群生の一部移植について検討し他結果、以前住宅のあった場所への移植を第一候補としました。整備されたせいか、粗大ゴミなどの放棄が減ったことはうれしいことです。樹林地内のクズは、見つけると直ぐに伐採をします。イヌタデ・ツククサ・ヤブラン・ミズヒキ・ハキダメギク・アジサイ・マンリョウ・ハエドクソウなどの花が咲いていました。

8月、雑木林広場の笹刈り。今年で3回目になるせいか柔らかい草のようになって刈りやすくなっています。チヂミザサが増えてきています。また、セミの羽化をみることができました。昼間にみることは珍しいのではないのでしょうか？ 花はキツネノカミソリ・ヌスビトハギ・ミズヒキ・ヤブラン・ハナタデ・ハエドクソウを観察。7月同様オオスズメバチも見かけました。

9月、整備された通路脇にキツネノカミソリの球根を植えました。来年が楽しみです。急に振り出した雨も雑木林内では気にならず、8月に刈り残した駐車場側の笹刈りを終了。



笹を刈るとヤブランの花やヒガンバナが目につくようになり他にギンミズヒキ・ミズヒキ・ハエドクソウ・ハナタデ・ツククサが咲き、ツククホウシ・ミンミンゼミがまだ鳴いていました。コオロギやバッタなど昆虫の姿が見られないとの感想がでました。(安部)

◆田んぼの学校

6/7 【しろかき】朝から良い天気です。参加人数もますますです。くろつけが畔の水漏れを防ぐ作業ならしろかきは田全体の水漏れ防止作業です。田んぼの土と水を混ぜて泥状にし全体を平らにして苗を植える準備をする事です。

【苗とり】苗床で元気に育てた苗を抜取り植える準備をするのです。「もち米」「うるち米」半々です

6/8 いよいよ田植えです。天気も上々、参加者も25名と今までの最高を記録しました。指導者の諸注意、説明の後縄を張り、「始め」の合図で一斉に植え始めた。重労働ではありましたが小1から70歳代まで同じ仕事が出来、今までに無い充実感を味わえた。9時半から始めた作業は昼前に終了し、「田植」が無事終了した事に感謝して乾杯し解散をした。

地域密着型の田んぼの学校は、柏野小学校で毎年行われる夏祭りにも参加します。2日間で焼き鳥5400本売りしました。大盛況です。➡

雑木林保全活動グループ活動記録コーナー

自然だよりの発行の中断により6月～9月の活動をまとめて掲載しています

◆カニ山の会

6/14 (土) 晴れ 参加者6名
○下刈り 新たに市が購入してくれた鋸鎌(のこぎりかま)を使用し、東樹林地上段部北西エリアの笹刈りを行った。通路隣接部30cm程度は低く刈り、そこから1m程度は林縁部保護、侵入防止のために刈り残した。林内は、実生や草本類に注意しながら笹刈りを行った。

○前回作業 東樹林地入り口付近の移植エリアは、根付いたようである。しかし柵の横木が外され人が通った痕跡もあり経過観察を要する。

日向部分の笹刈りをした。今後の実生に期待する▼



7/12 (土) 晴れ 参加者8名
○笹刈り及びツゲ・カシ類等の剪定 東樹林地上段部北西エリアで行った。かなり明るくなったが、樹幹が閉塞されているため、光が林床まで届いていない。

○ハチ対策講義 ハチの生態と危険性、刺された場合の対応について講義を行った。種類については、標本を示して説明を行った。

感想意見交換としては

「実生などを残し、笹だけを刈るように心掛けたが、今回はできたと思う。」「ポイズンリムーバーを直ぐに手に入れたい。」「ハチの話がためになった。」「光が林床に届くように、高木の枝切りの許可について市と話したい。」

などの話がされました。



8/9 (土) 晴れ 参加者4名

○笹、その他の草刈り 笹刈りの成果かヤブコウジが増えたようだ。萩の花が早くも咲き始め、東部分にはコリの葉が出ていた。来年以降の開花を期待したい。ヤマユリだろうか? ヤマユリだろうか? 間違えて刈り取らないように、小さな印を付けた。



9/13 (土) 晴れ 参加者8名

○方形枠調査 依然コナラが多いもののエゴノキが大きくなってきており、毎回、変化が見られる。

○笹刈り、灌木の除伐 中段の三角エリア、北西角地の笹刈りと上段南側のツゲ等の除伐。

除伐などのお陰でカニ山東樹林が明るくなってきた。また笹刈りの継続で、笹の成長が遅くなってきているように感じる。今後の高木の枝切りが楽しみである。

◆田んぼの学校

さて6月に植付けられた苗は8月に入り、ゲリラ豪雨にもめげず順調に生育し稲穂が垂れ始めました。すると雀が美味しそうな物だけを荒らし始めます。防御策として9/7 案山子を創って建てました。校長先生は雀の怖がる物をとおっしゃいますが、創る人の人柄が表れて皆優しい物ばかりです。どれほどの効果があったのでしょうか。約1ヶ月後10月4・5の両日、延べ40名の参加者で、うるち米、餅米を刈上げ、はざ掛けにして今、田んぼに天日干しにしています。今年は豊作のようです。

(レポート：生徒 佐々木)



◆調布 花・はなの会

6/13 電気通信大学正面玄関に学生と職員、調布花はなの会員など総勢60人余が集り大学正面玄関に花植えを行いました。毎年この時期と秋の2回行われ今年で8年目になります。6月のこの時期は夏から秋に向けての花を、10月には春4月の卒業・入学シーズンに向けて明るく華やかな花を咲かせるチューリップなどの球根と冬の寒さに耐えて花を咲かせ続けるパンジーやピオラ等を植えてきました。卒業入学の季節には「親子で大学玄関花の前で記念撮影」の風景も見られます。「調布花はなの会(原 均会長・会員17名)は調布市の街づくりに関する講習会の受講生が結成、「花・はなで調布を、やすらぎのある街に」をモットーに活動しています。学生や職員の方にも土いじりや花植えの楽しさをと呼びかけて参加していただいています。今年も市長と学長が参加され和やかに花植えが出来ました。(調布花はなの会 浅川 明)



ちょうふ あちこち

◆茅の輪くぐり-布多天神社

茅の輪くぐりは日本古来からの神事ですが6月25日布多天神でも夏越しのお祓いが行われました。行事に使われる茅の輪作りは毎年各町で交替に行われるそうですが、今回は小島町の世話人の方々が、たくさんの茅萱(チガヤ)を求めて、多摩川上流の府中の方まで採りに行って来たそうです。子供の頃ツバナと呼ばれる茅萱をおやつ代わりに口に含んだ経験のある方も多いことでしょう。6~7月はフワフワした綿のような穂が付いているので、すぐにそれと分る草です。(編集部)



◆環境モニター

6/7(土) 参加者:10人

神代植物公園の東に位置する、五差路近くに「都市森の丘」があります。1999年からボランティアの手によって作られた雑木林です。全くの更地に土を盛り、都の苗圃から苗木を移植して作り上げてきた場所ですが、基本的に下草は自然に出てきたものばかりです。土の中に種があったのでしょうか、ノジトラノオなどのめずらしい植物も出ていました。



カワラナデシコ

7/12(土) そそろ歩き

今回は一般参加者を募集してのそそろ歩きにモニターのメンバーも同行。コースは仙川駅から糟嶺神社まで。

まずは、新しくできた仙川劇場を眺め、桐朋学園横から寺町通りを拝観。ここは関東大震災の折、築地本願寺から移転してきたもの。昭和4年に現在の6つのお寺により形成された。

そこから旧入間村のメインストリートにあたる大坂の横、若葉町3丁目の緑地公園内を散策。ボランティアによる樹林の保全活動と、市の公園課によって気持ちの良い林になっている。道路を隔ててNTT側にも「入間樹林」があり、こちらは市内では他に先駆けてボランティアによる保全活動が行われてきた所。入間樹林の会メンバー安部さんから活動のようすや樹林のなりたちなどのお話を聞くことができた。

この辺りは国分寺崖線といって市内ではまとまった自然の残る場所。NTTの敷地が民間デベロッパーに売却されたり、都市計画道路での開発が心配される場所でもある。

その入間樹林のすぐ下には弁天様があり、以前は湧水で小さな池になっていたという。

そこから立派な屋敷林のあるお宅を横目に明照院と糟嶺神社を見学。神社の境内には大きなクロマツがあったが枯れたのだろうか、切り株だけが残っており、もう1本のクロマツは道路側に傾いて生存が危ぶまれる。



▲サポーターから道祖神の説明を聞く

8/2(土) 久しぶりの室内学習

武蔵野市で「みちまちみどり」を発行している鈴木圭子さんを講師に迎え、情報発信の仕方などのお話を聞いた。鈴木さんの活動に感嘆!おおいに参考にしたい。

(※9月の活動はありませんでした)

多摩川今昔③

4月の環境モニターでお世話になった地元生まれの戸部英貞先生、ちょっと昔の調布のお話です。

○魚採り

現代のように遊具の無かった時代、多摩川での魚採りは、子供達の楽しみだけでなく、生計を得るための重要な役割を担っていた。我が家には多摩川の漁獲物を定期的に売りに来る老人がおり、ウグイの産卵期には、川底の石を綺麗に整え産卵場所（洗い場？）を作り、産卵に集まった魚群を投げ網で一網打尽にしたウグイや、生きたままのモエビやザリガニのむき身を舟籠に並べて持ってきた。

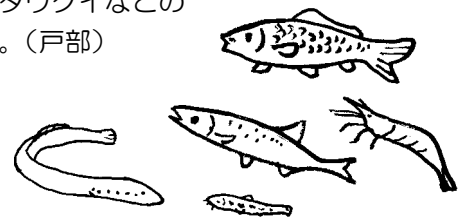
当時の多摩川は、本流の流れの脇に幾つもの湧水の溜まりがあり、どこにもシマドジョウやスナヤツメが見られ、特別な道具なしに捕獲することが出来た。また、流れの中に入ると小魚が石の下に逃げ込むので、大きな石を拾って投げつけると、時にはつぶれてしまうが、振動で魚が失神して浮き上がってくるのを捕まえた。（爆弾）

冬の最中（2月頃）のカジカ採り。冷たい流れに入り、大きな石をそっと返すと、カジカが産卵しており、板状

になった卵塊を探した。時には同時にカジカも捕まえることが出来た。すぐに手も足も凍え、感覚が無くなると、たき火を燃やして暖を採り、それを繰り返した。

魚釣りも現代のような立派な竿や道具はなく、糸の先に釣り針を付け、50cmほどの細い棒きれに結び、川岸の石の下に住むチョロムシ（カゲロウの幼虫）を餌に流れの中に入り、流れに任せながら前後に引くと、オイカワやウグイを釣り上げることが出来た。（あんま釣り）

夕刻には、丈夫な尻糸に大きな釣り針を幾つか付け、ミミズやドブビル（？）を餌に、糸の先に石を結んで投げ込んでおき、早朝に引き上げに行くと、ウナギやナマズ、コイ、マルタウグイなどの大魚がかかった。（戸部）



☆ 市民エコ活動カレンダー & おしらせ ☆

★★★ 全ての会でメンバー随時募集中！★★★

◆カニ山の会

11/8（土）10:00~12:00

集合場所：野草園横

内容：枝切り その他

12/13（土）10:00~12:00

集合場所：野草園横

内容：未定

※原則毎月第2土曜に東樹林の保全活動を行っています。参加希望の方は直接集合場所へおいで下さい。（年会費500円+保険料）

問合せ 環境政策課

042-481-7086 まで

◆入間・樹林の会

11/16（日）9:30~12:00

集合場所：入間地域福祉センター

内容：樹林の保全作業

12/21（日）9:30~12:00

集合場所：入間地域福祉センター

内容：未定

※原則毎月第3日曜に活動しています。参加希望の方は直接入間地域福祉センターへおいで下さい。

問合せ 環境政策課

042-481-7086 まで

◆若葉の森の会

11/9（日）10:00~12:00

集合場所：入間地域福祉センター

内容：清掃や下草刈りなど樹林の保全活動

12/14（日）10:00~12:00

集合場所：入間地域福祉センター

内容：樹林の保全活動

※原則毎月第2日曜に若葉町第3緑地で保全活動を行っています。参加希望の方は直接入間地域福祉センターへおいで下さい。

問合せ 緑と公園課

042-481-7083 まで

◆環境モニター

12月の活動は未定です。問合せ 環境政策課 小松 042-481-7086 まで

市民発 ちょうふの自然だより 発行について

◆編集後記◆

やっと陽の目を見た91号。しばらくお休みしている間に秋も深まり、ちょっぴり木々の紅葉も始まりました。90号までは市の環境政策課の力を借りての発行でしたが、今号からは市民の手で頑張ることになりました。発行部数は当面500部とします。

発行：ちょうふ環境市民 / 環境と未来を考える会

というわけで溜まっていた6月から9月までの活動報告を主体に載せましたので、次号は10月11月分を掲載する予定です。なんらかの活動グループに参加されている方は是非活動状況や予定をお寄せ下さい。グループに参加していない方からの自然情報なども大歓迎です。（ME & NK）

連絡先: <http://ameblo.jp/kankyo-simin/>からどうぞ